

主要地方道 久留米立花線(上津町工区) (改築系道路事業)

1. 事業概要

1) 路線の概要

主要地方道久留米立花線は、久留米市上津町を起点とし、広川町を経て、八女市立花町に至る延長約12kmの主要な幹線道路であり、県南地区を南北に連絡し、東西軸である主要地方道三潯上陽線、国道442号と一体となつて、広川町および八女市西部の道路ネットワークを支えている。さらに、起点部周辺では国道3号や一般県道藤山国分一丁田線と接続して久留米市中心部を繋いでおり、地域住民の生活を支える重要な路線である。

このため、現在、八女市および広川町内においては順次整備を進めており、約9kmの区間が整備中及び整備済みであるが、久留米市内においては当該区間約2kmが未整備となっている。

2) 事業の必要性

① 本事業区間の周辺には、上津小学校、青陵中学校、祐誠高校が立地し、通学路として利用されているが、歩行者や自転車の交通量が多いにもかかわらず、歩道や自転車通行空間が未整備で危険な状況であるため、通学児童をはじめとする歩行者や自転車利用者の安全確保が必要な区間である。また、沿線地域の南北方向の緊急輸送道路は国道3号のみであることから、並行する本路線は、防災面でも整備が求められる。

[歩行者交通量: 99人/日、自転車交通量: 928台/日]

[歩道未設置区間: 89.8%(歩道未設置区間: 718m/区間延長: 800m)]

② 本路線は、沿線地域住民の生活拠点である久留米市中心部へのアクセス道路として利用されているにもかかわらず、本事業区間は最小車道幅員が3.6m、車道幅員5.5m以下の区間が60%を超えており、車両同士のすれ違いが困難なために、円滑な交通に支障をきたしており、地域住民の生活利便性向上が喫緊の課題となっている。

[幅員5.5m未満の区間: 60.5%(5.5m未満: 484m/区間延長: 800m)]

3) 事業に期待される効果

①(安全安心な生活環境の確保)

歩道や自転車通行空間が確保されることにより、通学児童をはじめとする歩行者、自転車利用者の安全性向上が図られる。また、沿線地域から第三次医療施設である久留米大学病院や聖マリア病院へのアクセス時間が短縮され、緊急時における救命・救急活動に寄与するとともに緊急輸送道路の機能強化が図られる。

[藤山町～久留米大学病院の所要時間: 21.6分(整備なし)⇒19.7分(整備あり): 約2分短縮]

②(地域の発展を支援)

幅員狭小区間の解消により車両の円滑な交通が可能となることで、沿線地域から久留米市中心部へのアクセス性が改善され沿線地域住民の生活の利便性が向上し、地域の発展に寄与する。

2. 現道の状況

最小幅員: W=3.6(4.6)m
現況交通量: 2,544台/日(大型車混入率4.6%)【R2.11.25実測】
混雑度: 2.13

3. 計画内容

事業箇所: 福岡県久留米市上津町
道路の区分・設計速度: 第3種第2級 V=50km/h
延長・幅員: L=0.8km・W=6.5m(14.5m)
全体事業費: 1,700百万円
事業着手年度: 令和3年度
事業完成予定年度: 令和12年度
計画交通量: 5,900台/日(2車線)(R12推計)
費用便益比(B/C): 1.70

4. その他特記事項

陳情書・要望書: 主要地方道久留米立花線整備促進期成会(S48年設立)
令和2年9月30日 要望書 上津校区まちづくり振興会等から久留米市へ提出
令和2年11月20日 要望書 久留米市から提出

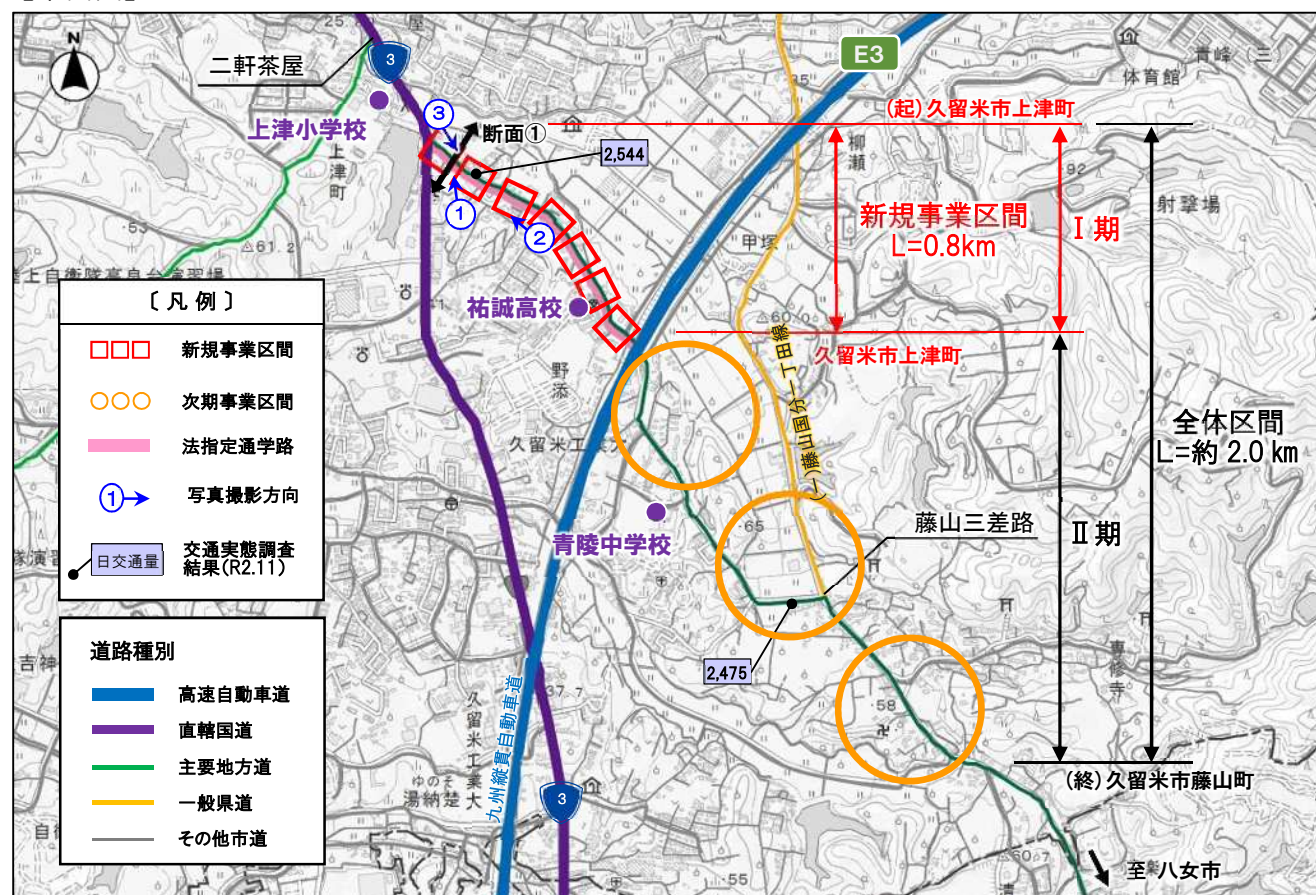
【位置図】



【路線図】



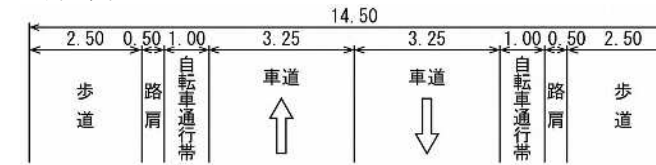
【平面図】



■ 現況(断面①: 最小幅員)



■ 計画



【現況写真】



写真①幅員狭小区間の通学状況



写真②歩道未設置区間の通学状況



写真③幅員狭小区間の離合状況